



第6章

フ ォ ロ ー ア ッ プ

1. 業務指標による状況の把握

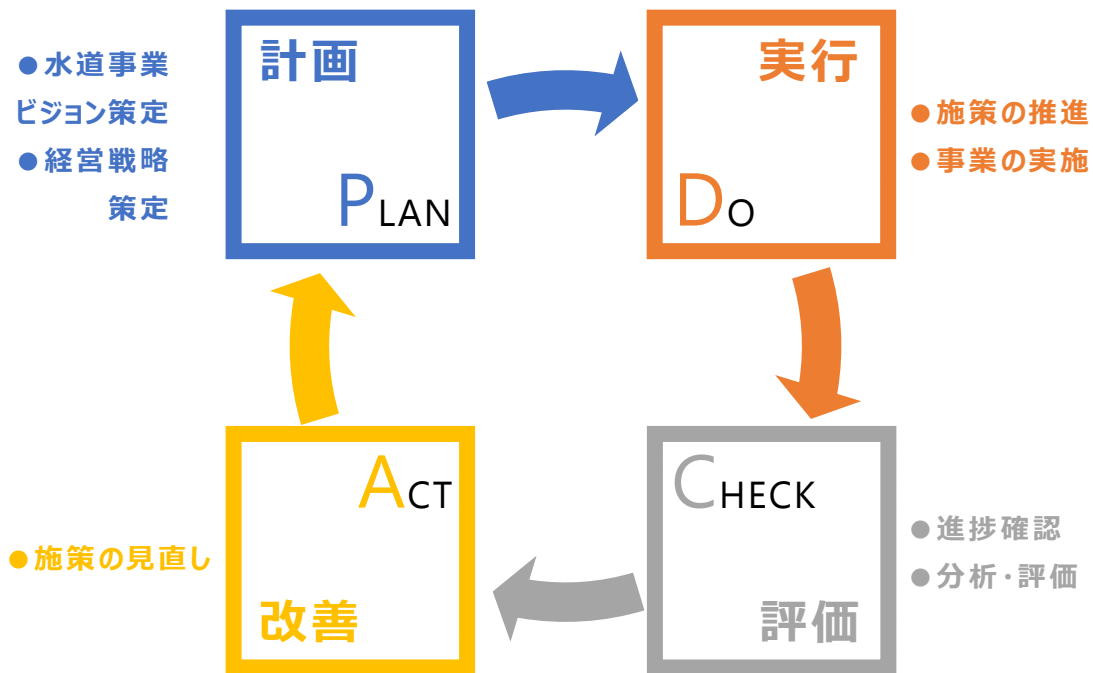
業務指標（PI）を用い、経営の健全性や効率性、施設の状況などの把握を毎年度行います。

2. 事業の分析・評価

本ビジョンで策定した目標や施策などの取り組みを効率的に推進するために、指標値を把握し、分析、評価を定期的に行います。

また、事業活動においてPDCAサイクルを活用し、事業のレベルアップ（スパイラルアップ）を図ります。

図 6-1.PDCA サイクルのイメージ



3. 事業の見直し

社会経済情勢の変化、水源水質の変化、水需要量の変化など事業の進捗に影響を与える、想定外の難しい状況の変化が起こることが考えられます。そのような状況変化にも対応できるようにするため、適宜見直しを行っていきます。